

市指定史跡

七ツ塚古墳群



日野台地より北縁より多摩川の氾濫原に向かって北に舌状に張り出した台地上に発見された、大小7基の墳墓群。本来古墳群は、明治26年（1893年）に1基、昭和29年（1954年）に1基が調査され、後者の調査では砂岩による横穴式石室が検出された。石室全長4.8m、羨道長3m、玄室最大幅1m、深さ1.2mの規模を有し、床面に径約10cmの河原石を全面に敷いている。出土遺物は、短刀及び直刀各1口、鉄族4本である。また、古墳群の中では墳丘周辺から瑪瑙製勾玉・水晶製切子玉、日野市で唯一の女性埴輪・武士埴輪・円筒埴輪の破片も発見されている。

（『日野市の文化財』1994年3月31日発行より）

昭和36年10月1日指定

※無断転載・使用及び別の媒体に収録して再配布する等禁止。

(C) Copyright Hino Board of Education All Rights Reserved.